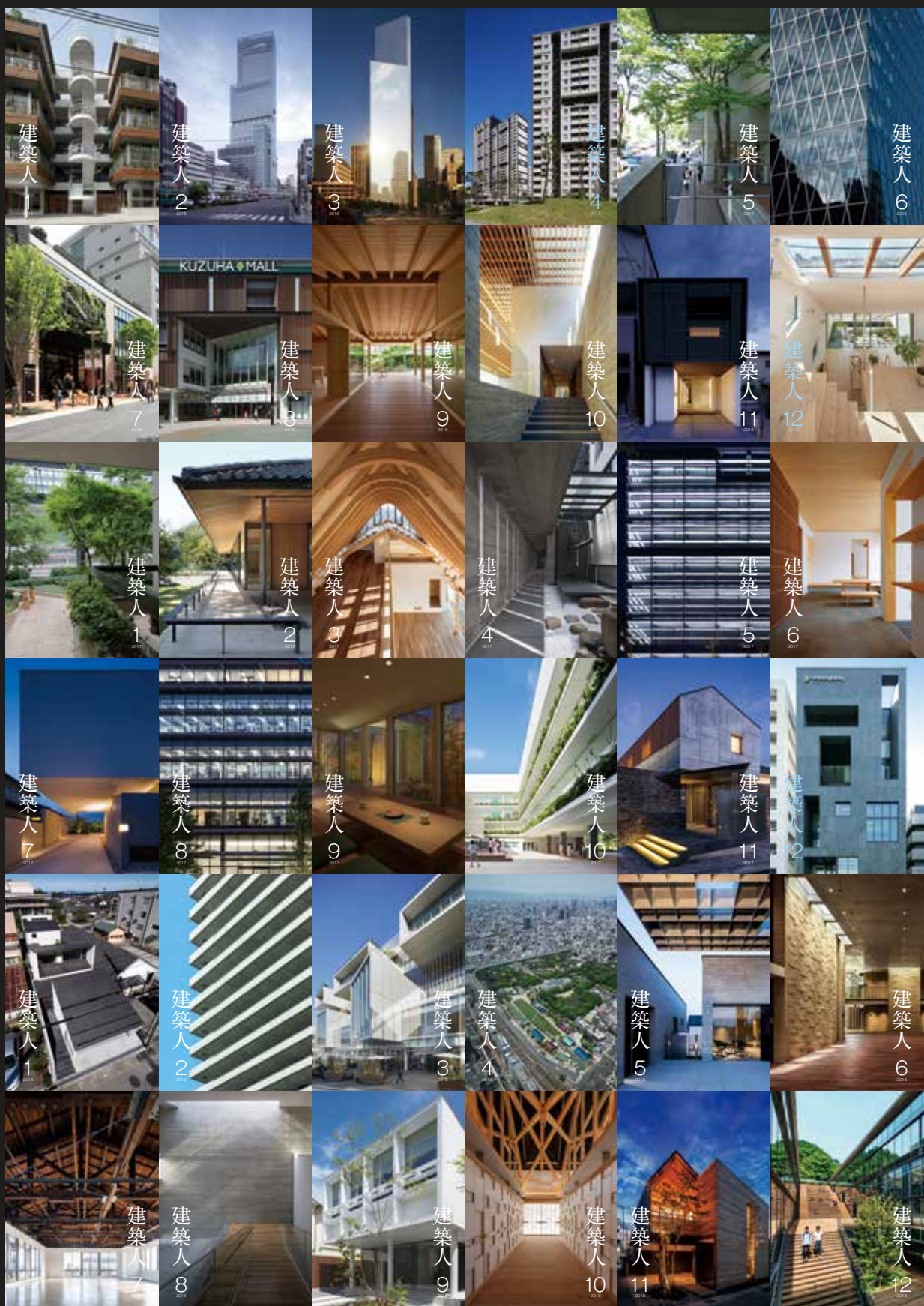


建築人

1

2019



2016-2018

大阪ホンマもん



建築人

1
2019

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

6 動静レポート

7 Topics

8 Gallery 建築作品紹介

ファヴォーレ狭山

設計 野村充建築設計事務所 施工 三栄建設

ナカザワ建販株式会社 本社社屋

設計 徳岡設計 施工 レビック

DESCENTE INNOVATION STUDIO COMPLEX

設計 竹中工務店 施工 竹中工務店

農人町の町家

設計監理 大西憲司設計工房 施工 アトリエ・エイト

記憶の建築 松隈 洋

倉吉市庁舎 一九五六年

戦後型庁舎具現化への試み

建築の射程 泉谷繁樹

吉野の森と街をつなぐ 想いを馳せる関係に

理事会報告 建築相談室から 編集後記

平成三十一年年頭所感

公益社団法人 大阪府建築士会
会長 岡本 森廣



新年あけましておめでとうございます。
平素は本会活動に深いご理解とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

先ずは二〇二五年に、大阪万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催されることを寿ぎ、多種多様なテクノロジーが展開されることによる一層の進化・深化が促進され、また将来の意欲のある若い建築士の活躍の場となることを期待します。

さて、建設業界を取り巻く環境は、地域社会では事業規模・量の縮減、次世代後継者不足が顕著であり、いずれの建築関連団体も会員増強対策が喫緊の課題です。

本会では、行政や関係団体との連携を促進し、既存住宅調査技術者育成、耐震診断、リフォーム、省エネ、ヘリテージ、まちづくり、建築相談、建築等のICT、建築紛争に係る技術支援などの多岐に亘る社会的課題に真正面から向き合い、積極的に団体活動を具体化してまいります。

本会は、公益社団法人として建築士の育成支援はもとより、特に女性建築士の活動機会の創出や、行政支援による府民の利益を擁護・増進する社会貢献活動等は、必ずや建築士並びに建築士会にポジティブな意識を醸成し、高い評価に結実するものと信じて邁進してまいりますので、今後とも本会の公益目的事業の推進に際しまして、会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今や大阪の商業地では日本人より外国人観光客の方が多いと感じる心斎橋界隈。ここに見事なスキンを纏ったレトロビルが営業を続けている。今回は中華料理店「大成閣」を紹介したい。

創業者の于学成氏は昭和十五年（一九四〇年）に中国の山東省から来日した。そして昭和二十八年（一九五三年）に大阪市南区鰻谷町で、当時としては珍しい中華料理店「蓬萊閣」を開店させた。店は大繁盛をおさめ、東心斎橋のホテルを買収し「大成閣」の営業を始めた。その後、大成閣の営業に専念するため蓬萊閣を売却し大成閣を建替えることになった。

建物の設計は、村野藤吾氏に依頼し、六階建てで計画された。建物は昭和三十九年（一九六四年）完成し、現在も営業を続けている。同年に竣工し、村野藤吾氏が携わった建物としては、直ぐ近くにある浪花組本社ビルがある。

特徴的なファザードはアルミの成形材で構成されており、ガラスカーテンウォールとは違い、軽やかではあるが建物に陰影を与えることに寄与している。

一昔前まで、このミナミには村野藤吾氏の設計した建物が多く存在していた。そう大阪店や心斎橋プラタン、旧新歌舞伎座など、個性豊かな建築が道行く人々の心を掴んでいた。現存する浪花組本社ビルなどと共に、村野作品を見続けていたい。

第5回 国際茶楼 「蒼き国モンゴルⅡ～ゲル体験」報告会

1/25 CDP 2単位(予定)

今年9月に実施した建築士会海外研修旅行の報告会を行います。佐藤紀子氏(モンゴル国文化大使)を迎え「ノモンハン事件(満州国とモンゴル人民共和国との国境紛争)」の話をお聞きます。スライドショーではモンゴルの建築・文化およびゲル体験を皆様にお伝えしたいと思います。レンチン・アマルバヤル氏(モンゴル国立馬頭琴交響楽団 首席演奏家)ファミリーによる草原のチェロと呼ばれる馬頭琴の美しい音色をお楽しみください。

日時 1月25日(金) 18:00～20:00
会場 La Paz(天神橋筋6丁目)
定員 50名(申込先着順)
参加費 会員2,000円 会員外2,500円
学生・大阪府建築士会新入会員(2017年度以降入会) 無料
懇親会 会費4,000円(予定)

ちょっと知りたい建築セミナー 庭づくり入門!「テラリウム体験」～ガラスの中の小宇宙～

1/26 CPD3単位(予定)

以前から好評の、(株)荒木造園設計の敷地内見学と、ガラス瓶の中の庭づくり「テラリウム体験」セミナーです。池田市にある本社敷地内は、同社創設者の荒木芳邦氏が造園を介して伝えたかった「楽しさ、驚き、喜び、高ぶり、安らぎ」が見事に具現化されています。また、「ガラスの中の小宇宙」と注目されている「テラリウム」を通して庭づくりを体験。各自の作品をお持ち帰りいただきます。

日時 1月26日(土) 13:30～16:00
会場 (株)荒木造園設計(池田市鉢塚2-10-11)
講師 (株)荒木造園設計 造園設計担当者
参加費 会員3,500円 会員外4,000円
※基本材料費1つ分を含む
定員 30名(申込み先着順)

公益社団法人大阪府建築士会・大阪弁護士会共催 建築紛争セミナー3(鑑定業務支援委員会セミナー) 「建築紛争における現地調査のあり方と心得」

2/1 CPD2単位(予定)

本会では建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成に力を注いでいます。今回は現地調査について、初動時の対応方法・裁判や調停における現地調査のあり方、裁判所の調停員やADRなどでの専門家として関与した場合の現地調査の対応方法などについて、弁護士と建築士の対談方式で説明いたします。

日時 2月1日(金) 18:00～20:00
会場 大阪弁護士会館
(大阪市北区西天満1-12-5)
参加費 無料
定員 100名(申込み先着順)

地域委員会(大阪市東)・ヘリテージ委員会共同企画 登録有形文化財「佃家煎茶室 主屋・土蔵(一茶庵宗家九如舂堂)」見学会

2/2 CPD3単位(予定)

“煎茶”をご存知でしょうか?そして、大阪にもその家元がいっぱいあることをご存知でしょうか?通常は非公開の数寄屋意匠を基調とした登録有形文化財「佃家煎茶室主屋・土蔵」(一茶庵 家元稽古場)の見学と一茶庵宗家嫡承の佃 梓央(つくだしおう)氏より「煎茶室について」のお話を今回特別にお願いしました。(煎茶体験はございません。)

日時 2月2日(土) 14:30～17:00
14:00より受付開始、現地集合
会場 一茶庵 家元稽古場
大阪市中央区大手通1-1-1
参加費 会員・大阪府ヘリテージマネージャー育成講座受講生1,500円
会員外2,500円
定員 30名(申込先着順)
見学会終了後懇親会を行います。(希望者のみ)
17:30～19:30
場所 すし居酒屋 両国 花の舞 谷町四丁目店
参加費 3,500円(予定)

ヘリテージ スキルアップ講座 地域の歴史ある風景を守る ～歴史的建築物の保存活用～

2/3 CPD3単位(予定)

歴史的建築物保存活用とヘリテージマネージャーの役割、文化財保護法の改正などをテーマに講演およびパネルディスカッション(京都市、神戸市の事例紹介など)を行います。

日時 2月3日(日) 14:00～17:00(予定)
講師 工学院大学教授 後藤治
京都市・神戸市保存活用・景観政策担当(予定)
会場 大阪府立中之島図書館本館
定員 50名(申込先着順)
参加費 会員・大阪府ヘリテージマネージャー育成講座受講生1,000円
会員外1,500円 学生500円

平成30年度大阪府ヘリテージマネージャー ステップアップ講座第2回 「(仮)村野藤吾作品見学と歴史的建造物の構造について in 関西大学」

3/9 CPD4単位(予定)

関西大学内の村野藤吾作品を見学し、歴史的建造物の構造についての材料実験を西澤研究室で拝見します。

日時 3月9日(土) 13:00～17:00
受付12:30より
会場 関西大学 定員 50名(申込先着順)
参加費 会員・大阪府ヘリテージマネージャー育成講座受講生 500円
会員外1,000円
村野藤吾作品見学と解説(関西大学構内)
講師 関西大学准教授 橋寺知子
歴史的建造物の構造について(西澤研究室にて)
講師 関西大学教授 西澤英和
見学会終了後懇親会を行います。(希望者のみ)
場所 未定

平成30年度大阪府ヘリテージマネージャー ステップアップ講座第1回 「歴史的都市性の価値を保全する変化」

2/14 CPD2単位(予定)

日時 2月14日(木) 18:30～20:30
講師 神戸芸術工科大学教授 小浦久子
会場 大阪倶楽部3号会議室
定員 50名程度(申込先着順)
参加費 会員・大阪府ヘリテージマネージャー育成講座受講生500円
会員外1,000円

建築士の会 やお・かしわら+東大阪 八尾市立「志紀おおぞらこども園」見学会

2/16 CPD2単位

園舎の中央に2層吹き抜けのランチホールを配し、吹き抜けの上部には室内から空を感じられる高窓が設けられています。広がりを感じる園舎とすることで、園児の伸びやかな成長を促す造りとされています。是非ご参加ください。

日時 2月16日(土) 受付10:00～見学 10:30～12:00(予定)
集合 志紀おおぞらこども園玄関前
八尾市志紀町西2-1-10
最寄駅 JR大和路線志紀駅(下車徒歩約13分)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 30名(申込先着順)
設計・監理 (株)東畑建築事務所 大阪事務所
施工者 (株)三栄建設

シニアサロン第66回－専門医に学ぼう編－ 貴方の腎臓は大丈夫?!

2/21

腎臓について、日頃疑問に思っていることを、栗原先生が解りやすく説明してくださいます。

日時 2月21日(木) 15:30～17:30
会場 大阪府建築士会会議室
講師 栗原陽次郎医師
定員 50名
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
懇親会参加費 5,500円

ニューヨーク海外研修 「グランド・ゼロからのスタート」

2/21～26 CPD申請中

今回はニューヨークを訪ねグランドゼロでの献花、4WTC見学、美術館巡りの他、ゴスペルクワイヤの鑑賞等を楽しみます。また現地で働く技術者の方々との交流、情報交換等のひと時も持つ予定です。

日時 2月21日(木)～26日(火)
訪問地 アメリカ合衆国 ニューヨーク
参加費 285,000円(10名以上の場合)
※飛行機、ホテル、一部の食事代含む。
(但し、燃油サーチャージ、空港利用税等は別途)
視察先 グランドゼロ、4WTC、メトロポリタン美術館、グッゲンハイム美術館他

地域委員会(北摂)・国際委員会・シニアサロン・ヘリテージ委員会共同企画 竹中大道具館見学

3/16 CPD3単位(予定)

ヘリテージを支えてきた伝統的な大工道具の実際と建築としての竹中大道具館を見学します。そして企画展(SOMA 日本の森と素木の家具)も鑑賞します。大工道具や版築などについて、同館スタッフの方々に解説していただき、伝統的な建築技術の歴史と建築の世界に触れたいと思います。その後、旧神戸ユニオン教会(現フロイドリープ、ヴォーリス設計)も見学します。

日時 3月16日(土) 13:00～16:30
会場 竹中大道具館、旧神戸ユニオン教会
定員 40名程度
参加費(入館料込み) 学生500円
会員・ヘリテージマネージャー1,000円
会員外1,500円

大阪地域貢献活動分科会 2019年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。

募集締切 3月20日(火)
対象とする活動
原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としていない活動。

助成額 1件の助成額は30万円を限度
※募集案内は今月号に同封しています。

木質系大スパン建築物の可能性

3/30 CPD3単位(予定)

木質系大スパン建築物のこれからの可能性を構造・デザインの両面からご説明すると共に、木造でも大スパン建築が十分可能であること等実例を交えてご紹介します。

また一般流通材とプレカットを用いることにより経済的かつ合理的に建築された木造建築物について各工法をご紹介しながら解説します。木質系建築の新しい可能性について知って頂き、実務にぜひお役立て下さい。

日時 3月30日(土) 14:00～17:10
会場 近畿中国森林管理局
内容

- 大スパン木造の構造デザイン手法と実施例
講師 稲山正弘
 - 事例紹介1 木質トラス ブライムトラス(株)
 - 事例紹介2 木と鉄の複合梁
パナソニックアーキスケルンデザイン(株)
 - 事例紹介3 木造トラス (株)ATA
- 定員 80名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員1,000円
一般2,000円 学生500円
懇親会費用別途

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

建築士会会員受講料全額補助
大阪府住宅省エネルギー設計者講習会
簡易評価法(仕様ルート・簡易計算ルート)
1/18、1/24 CPD各6単位(予定)

国土交通省が新省エネ基準を2020年までに段階的に新築住宅への適合を義務付けることに先がけて、設計者に木造住宅の省エネ技術の習得をしていただく講習会です。
日程 ①1月18日(金) ②1月24日(木)
時間 9:40～16:10(各回共)
会場 大阪府建築健保会館6階ホール(各回共)
大阪市中央区和泉町2-1-11
定員 各回120名(申込先着順)
受講料 会員 本会が全額補助(各回共)
会員外1,000円(各回共。テキスト代含む)
※申込方法 専用のWEBからお申込してください。
HP [「省エネ講習会」](#) [検索](#)
※詳細は今月号同封の案内チラシをご覧ください。

平成30年度監理技術者講習
(監理技術者以外の方も受講可能)
1/18、2/6、3/6 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
日程 1/18(金)、2/6(水)、3/6(水)
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

大阪府知事指定講習
平成30年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法で、伝統構法の木造建築物の耐震診断等に用いられます。
日時 1月29日(火) 9:30～16:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
定員 120名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円

建築士法にもとづく建築技術講習会
建築紛争における法的措置とその対応策2019
2/12 CPD3単位

近年、建築紛争は多様化し、行政不服審査請求や訴訟など法的措置に発展する事例も少なくありません。また、インスペクション制度の導入により、建築士が不動産取引に関する紛争に巻き込まれる可能性も懸念されます。
本講習会では大阪地方裁判所裁判官と大阪府建築審査会委員の学識者を講師に迎え、建築紛争における法的措置とその対応策について講演いただきます。
日時 2月12日(火) 14:00～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員 3,000円
後援団体会員 4,000円
一般 5,000円

建築士法にもとづく建築技術講習会
総合図作成ガイドライン解説
2/13 CPD2単位

日本建築士会連合会が作成した国土交通省官庁営繕部推奨の総合図作成ガイドラインは、施工図作成段階での納まり等の調整と、関係者間における調整に非常に有効です。
本ガイドラインのDVDによる講習を行います。
日時 2月13日(水) 18:00～19:45
会場 大阪府建築士会会議室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員 5,000円
後援団体会員 6,000円
一般 7,000円
※総合図作成ガイドラインの代金3,000円(特別価格)を含む

建築士法にもとづく建築技術講習会
木造ホテルの耐震改修講習会
一志摩観光ホテルと奈良ホテル
2/19 CPD3単位

木構造の第一人者である京都大学の五十田教授を講師にお招きし、中大規模木造建築の耐震診断・補強設計の留意点について解説していただきます。
続いて外国人旅行者に人気のある村野藤吾設計の志摩観光ホテルと辰野金吾設計の奈良ホテルを取り上げ、それぞれの耐震補強設計と耐震改修工事の手法について、設計者から説明していただきます。
日時 2月19日(火) 14:00～17:15
会場 大阪府建築健保会館
定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員 3,500円
後援団体会員 4,500円
一般 5,500円

建築士法にもとづく法定講習会
平成30年度建築士定期講習
2/21、3/18、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成27年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
日程・会場・定員
※2/21(木) 大阪国際会議場 300名
3/18(月) 大阪国際交流センター 200名
3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名
時間 9:25～17:00(各講習日共)
受講料 12,960円(消費税含。事前振込)
申込書配布場所
大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成27年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法
上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。
受付場所(送付場所)
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
https://jaeictkosyu.jp/jaeichteikikosyu/
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

第63回大阪建築コンクール
1/15～31

本コンクールは、建築士と社会とのかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するもので、今回で第63回を迎えます。渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者を表彰します。
募集対象 大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門
(完了検査済証発行日で39歳以下)
両部門共建物の種類・規模は問わない
審査委員

委員長 松隈 洋(京都工芸繊維大学教授)
委員 橋本一郎(エス・キューブ・アソシエイツ)
鈴井修一(京都大学名誉教授)
松岡 聡(近畿大学教授)
松田浩三(大阪府住宅まちづくり部 公共建築室室長)

応募期間 1月15日(火)～1月31日(木)
応募資格
大阪府知事賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
渡辺節賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日に39歳以下の者
応募料 本会正会員 1作品20,000円
本会正会員外 1作品40,000円
※詳細は本号同封の第63回大阪建築コンクール応募要項をご覧ください。

建築士法にもとづく建築技術講習会
中大規模木造設計セミナー
2/28 CPD4単位

「公共建築物の木材利用促進法」が2010年に施工され、低層の公共建築物などは原則として木造化、木質化することが義務付けられました。本セミナーでは、文部科学省の「JIS A 3301 木造校舎の構造設計標準」に基づき、流通材と住宅用の一般的プレカットを活用することで鉄骨と価格的に競合でき、意匠設計者であっても比較的容易に中大規模の木造建築物の設計が行える設計指針を解説いたします。この指針は、校舎をはじめ福祉施設、倉庫、事務所など一般用途の施設の設計も対象としています。なお、本セミナーはDVDによる講習となります。
日時 2月28日(木) 13:00～17:10
会場 CIVI北梅田研修センター 505号室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 2,000円

建築士法にもとづく建築技術講習会
大江一夫の設計術を学ぶ
一風川から六麓荘の実作を巡りながら
3/16 CPD3単位(予定)

多数の賞を受賞されている建築家 大江一夫氏の作品を巡る見学会を開催致します。本見学会では、夙川駅近辺にある複数の作品を巡るだけでなく、一部作品の内覧や大江氏の話を直接伺いすることが出来る時間を設けております。
日時 3月16日(土) 13:00～16:00
集合場所 阪急夙川駅南口
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員 3,000円
後援団体会員 4,000円
一般 5,000円

建築士の会 やお・かしわら+東大阪
八尾市立「南山本せせらぎこども園」見学会
1/19 CPD2単位

広く東西道路に面した敷地形状と園舎配置を活かし、川をイメージした手すり2階バルコニーに計画されています。また、園舎中央部のオープンスペースには、大階段と吹き抜けが設けられ、中廊下でありながら明るく開放感のある空間とされています。是非ご参加ください。
日時 1月19日(土) 受付10:00～見学 10:30～12:00(予定)
集合 南山本せせらぎこども園玄関前
八尾市山本町南3-1-39
(近鉄大阪線河内山本駅下車、南へ約0.5km、徒歩約5分)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 30名(申込先着順)
設計・監理 (株)大和建築事務所
施工者 シマ・龍華特定建設工事共同企業体

動静レポート

会長動静

- 11/26 守口市長面談
- 11/27 大阪府収用委員会
- 11/28 交野市長面談
- 11/29 門真市長面談
消費者団体意見交換会
建築4団体会長・支部長会議
- 11/30 大阪府建団連行事パネリスト
- 12/ 3 大東市長面談
- 12/ 6 千早赤阪村長面談
- 12/8～9 (公社)徳島県建築士会交流会
- 12/10 中央建築士審査会
- 12/12 大阪府収用委員会
- 12/13 太子町長面談
- 12/14 建築4団体合同忘年懇親会
- 12/18 島本町長・高槻市長面談
- 12/19 12月度理事会・正副会長会議
- 12/25 大阪府収用委員会



(右)
西端勝樹
守口市長



(右)
黒田 実
交野市長



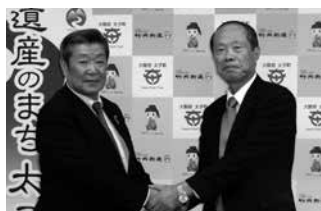
(左)
宮本一孝
門真市長



(右)
東坂浩一
大東市長



(右)
松本昌親
千早赤阪村長



(左)
浅野克己
太子町長



(左)
山田紘平
島本町長



(左)
濱田剛史
高槻市長

運営部門

平成 30 年建築士設計製図試験合格者の発表

平成 30 年の建築士設計製図試験合格者の発表が 12 月にあり、全国の合格者（下表）は、昨年に比べて全体で 654 名、率にして約 7% 増加しました。

区分	合格者数 [名]	合格率 [%]
一級	3,827 (318)	41.4 (41.0)
二級	5,997 (498)	54.9 (56.08)
木造	205 (37)	64.9 (74.0)

() は大阪府の合格者

運営部門

消費者関係団体との意見交換会を開催

11 月 29 日に毎年実施している消費者関係団体との意見交換会を行いました。お招きした消費者関係団体は、関西消費者連合会、消費者情報ネット、全国消費者生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会の 4 団体の代表者 6 名です。本会からは正副会長及び相談担当役員 8 名が出席し、本会の消費者に対する建築相談の状況や消費者関係団体からの建築士に対する要望、今年は特に本会が 4 月から実施している中古住宅売買時のインスペクションと瑕疵保険の活用を、消費者に広く PR

していただくよう願いました。

消費者関係団体から、台風 21 号による瓦屋根被害等の修復対応の遅れの問題などが提起され、消費者の声を本会活動に取り入れるきっかけとして有意義な意見交換会でした。

運営部門

(公社)徳島県建築士会において交流会を開催

12 月 8 日～9 日に本会岡本会長はじめ役員 14 名が(公社)徳島県建築士会を訪問しました。訪問の目的は、互いの活動状況や抱える課題などの情報交換を行い、今後の活動に活かそうというものです。徳島士会からは笠井会長をはじめ役員 10 名にご対応いただき、行政・教育機関との連携、災害支援、受託事業、研修事業などの活動状況や、会員拡大方策など多岐に亘って意見交換を行いました。徳島士会では近年会員が増加する傾向にあり、意見交換を行えたことは会員拡大の取組中である本会にとって、大変有意義であり、この成果を大阪士会運営に反映させたいと考えております。



(公社)徳島県建築士会との交流会

研修部門

(株)大林組大阪本店において監理技術者講習を開催

12 月 7 日に本会初となる監理技術者の出張講習を、(株)大林組大阪本店において開催しました。講習会には(株)大林組の監理技術者 43 名が参加され、講習終了後、講習修了ラベルを全員に交付しました。監理技術者は建設業法により 5 年毎に法定講習の受講が定められており、建築士会は国土交通省に登録する講習機関です。本会の監理技術者講習は、建設会社の現場管理に携わるスペシャリストを講師に招いての生講義が大変好評です。ご興味を持っていただいた方は一度本会にご連絡いただければと存じます。

「蒼き国モンゴルⅡ ゲル紀行」

平成 30 年 9 月 20 日（金）～ 25 日（水） ウランバートル・ホブド各地 参加者：12 名

モンゴルは 2007 年に実施し、今回は 2 度目の訪問になる。ホブド県はモンゴルの西端に位置し、ホーミーの故郷とも言われる民族色の強い地域で非常に興味深い文化・伝統の宝庫でもある。ホーミーの人間国宝ともいべきセンゲドルジ氏のご一家の演奏やガイドによるアルタイ山系の岩絵が見られる丘陵、洞窟そして洞窟内での祖先に捧げるセンゲドルジ氏の演奏は、今思い出しても涙が溢れる感動的なものであった。またウランバートルではシンモンゴル学園の専門学校の先生方だけでなく総長にもご参加頂いてモンゴルでの建築教育の現状やゼネコンの社長にも参加して頂いて情報交換が出来た。この情報交換の場でも今後の大阪とモンゴルの技術者との相互交流を進めていきたいと願わされた。交流懇親の場にも国立馬頭琴楽団首席奏者のアマルバヤ

ル氏ご一家に演奏を披露して頂いたのも、今回のコーディネーターである佐藤紀子モンゴル国文化大使のご尽力によるものである。出発の日には雪による空港閉鎖で韓国インチョンに 1 泊を余儀なくされるトラブルもあったが、その分韓国旅行を 1 日出したというプラスに考えて内容の充実した研修が出来たと考える。ウランバートル市内では中心部を主に、オペラハウスや国会議事堂、周辺庁舎やホテル群、各国領事館そしてホブドでは劇場・県庁・カザフ人街・サンギーンヘレム（清朝代の城壁）・ザハ（自由市場）等を視察出来た。まだ日本には紹介されていないホブドの魅力を知ることが出来、ハルオス湖は渡り鳥の中継地であるが、その湖畔のゲルキャンプで厳しい寒さも実感する事が出来た。明け方の湖畔の光景は日本では体験できないものである。

森田茂夫（国際委員会委員長）



来年 1 月にはモンゴル副首相と共にアマルバヤル・ファミリーが来阪されるので是非その折にコンサートを開きたいと考えている。



「これを見ずして村野藤吾を語るなかれ」見学会報告

日時：平成 30 年 11 月 10 日（土） 14:00～17:00 会場：南大阪教会、旧村野・森事務所 参加者：35 名

大阪市南地域では見学会の企画や運営、応急危険度判定の訓練等を通して世代を超えた会員との交流や災害に備えています。今回は、「これを見ずして村野藤吾を語るなかれ」と題した企画を開催しました。挑戦的な企画名ではありましたが、日本中に多くの名建築を残した村野藤吾の作品の中でも、処女作（渡辺節事務所勤務時代に設計）ともいわれています阿倍野区南大阪教会の塔屋と、隣接して建てられた晩年の作品で、最後の教会建築となった礼拝堂の見学、そして京都工芸繊維大学の笠原先生の講演と、旧村野・森事務所の見学会と懇親会を開催することで企画名に偽りは無かったと思います。南大阪教会にある塔屋は外部からでも視認できる位置にありますが、近くまでいかないと気付かなかった繊細なデザインを堪能し礼拝堂では、自然光や照明の明かりの取り方に工夫された窓の形状や天

井の十字架、吊り照明のデザイン等を間近で見学できました。また、礼拝堂において京都工芸繊維大学の笠原先生に教会や村野・森事務所の図面や模型を見ながらお話をしていただき大変勉強になりました。教会から少し歩いた先の住宅街の一角に旧村野・森事務所があります。建築された時と比べると、多少は改修されている部分があるものの外壁の仕上げに使われ

中北 力（大阪市南地域会会員）



た出目地のタイルや、さりげなく地下室へ明かりを取り入れるガラスブロック、内部においても当時のままの趣を残しつつ建物を有効に活用されており、名建築を壊すことなく残す方法として大変感銘をうけました。最後に、今回は南大阪教会様、友安製作所様そして笠原先生の厚意で見学会を開催することが出来ました。この場においてですがお礼を申し上げます。



南大阪教会は、村野藤吾の処女作と最晩年の作品が共存しており、現存する塔屋は 1928（昭和 3）年に建築されたもので、現存の礼拝堂（会堂）は 1981（昭和 56）年、当時 90 歳の作品で宗教建築最後の作品です。また旧村野・森事務所は現在、企業のショールーム・カフェバーとして使用されています。



ブドウ畑が点在する丘陵地に建つ地域密着型特別養護老人ホームです。住宅のイメージから構想した切妻屋根の建築はヒューマンなスケールを醸し出しています。この老人ホームの特徴は入居者が地域の人々と交流し、また地域の人々の様々な活動に開放される地域交流スペースにあります。ロビーとラウンジからなる地域交流スペースは緑豊かな周辺の景観と一体となる開かれた空間としてデザインしています。景色を取り込むカーテンウォールは、外観デザインに控えめな象徴性を、また塗壁仕上げの外壁から突出する金属仕上げのボリュームは、建築に陰影とスケール感を付与しています。

建 築 主：社会福祉法人 享佑会
 所 在 地：大阪府大阪市
 用 途：地域密着型特別 養護老人ホーム
 竣 工：2018.08
 構造規模：RC造一部S造 2階
 敷地面積：2,062.08㎡
 建築面積：1,202.23㎡
 延床面積：2,000.29㎡
 写 真：名執一雄



設計：徳岡設計
施工：レビック



住宅建材、木造構造材のプレカット、内外装工事、住宅設備施工まで住生活環境の向上とお役立ちを目指したナカザワ建販株式会社本社屋の新築移転において、「本社、本店、物流機能を快適に運用できる環境をナカザワ建販の取扱う素材で表現する」というコンセプトで計画した。仕事の各部門の機能が連携しながら効率よく働ける空間確保のため、大断面集成材サミット HR 工法を用いて 10.5m スパンの執務空間を 1 階に、会議室やリフレッシュ・コミュニケーション空間としてのメーブルカフェなどを 2 階に配置して、気持ちよく楽しんで仕事に臨める環境を整備した。風景に溶け込むシルバーの金属板と木架構を見通せる木製カーテンウォールにより、内部の様子が浮び上がり訪れる方々を迎え入れるファサードとした。

(藤城義丈 / 徳岡設計)

所在地：大阪府和泉市
用途：事務所
竣工：2018.08
構造規模：W 2 階
敷地面積：14,533.84㎡
建築面積：599.24㎡
延床面積：998.82㎡
写真：母倉知樹





スポーツブランド「デサント」のウェアの研究開発拠点。フランス語で滑降を意味する「デサント」の未来に向かうベクトルと、地形から想起されるベクトルを融合し、「速いものは必ず美しい」というブランドスピリットを形にした。製作・測定・実験の機能をコンパクトに集約させ、どこにいても製品開発を肌で感じることができ、まるで地形に内在するベクトルが内部を通り抜け、大自然の中で働いているような爽やかで開放的な内部環境を光や風のコントロールと共に実現した。この場所からスポーツを楽しむ全ての人々に感動を届ける製品が生まれることを願っている。

建築主：デサント
所在地：大阪府茨木市
用途：事務所
竣工：2018.07
構造規模：S造2階
敷地面積：22,220㎡
建築面積：3,389㎡
延床面積：4,307㎡
写真：Nacasa&Partners Inc.
NAKAMICHI ATSUSHI

(岩崎 宏、松岡正明)



敷地は、姫路城の南西側にある姫路市農人町に位置する。町名の由来として、江戸時代に城下町が成立し、町家は町人・職人・足軽などの居住地であったが、ここでは農夫が混住していたので、農人町と呼ばれていた。昔の地割のまま町並みが残されているノコギリのようなギザギザになった道に敷地が接している。道路向かいの平入りの町家や、周辺には昔の面影を残す町家が点在しており、景観に配慮して、現代的に踏襲した町家を考えた。計画は、道から繋がるもう一本の道を引込み、玄関へのアプローチとなる。道は通り土間となり、和室や、リビング・ダイニング・裏庭へと導かれ、吹抜を介して2階の各部屋に繋がっていく。主寝室から姫路城の天守閣を眺望でき、夜景が素晴らしい。

構造監理：天野一級建築
構造設計事務所
所在地：兵庫県姫路市
用途：専用住宅
竣工：2018.11
構造規模：木造(在来工法)
地上2階
敷地面積：175.77㎡
建築面積：85.17㎡
延床面積：127.49㎡
写真：福澤昭嘉

大阪府住宅省エネルギー施工技術講習会

平成30年度 国土交通省補助事業 住宅建築技術高度化・展開推進事業

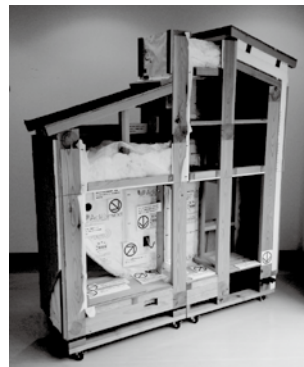
- 国では新築住宅・建築物の省エネ基準への適合義務化を段階的に進めています。
- 住宅取得者は省エネルギー住宅について非常に強い関心を持っています。
- 住宅建設に携わる大工・工務店の方々が省エネルギーに関する正しい知識と技術を身に付けることがこれからの経営戦略上の必須アイテムとなります。
- 講習会では省エネ住宅に関する基本的な事項と施工に際しての留意点についてテキスト、DVDを使ってわかりやすく説明いたします。

※大工、工務店の方々向けの講習会ですが、どなたでもご参加いただけます。

講習会を受講すると……

- ◆ **特典1** 写真・イラスト付きでわかり易くて実務に役立つ省エネルギー技術を解説したテキストがもらえます。(このテキストは市販されていません。)
- ◆ **特典2** 断熱施工の手順・注意点などを収録したDVD(施工編／設備編)がもらえます。
- ◆ **特典3** 修了者には受講修了証が交付されます。(希望者のみ)
- ◆ **住宅省エネルギー講習会の修了者について**

地域型住宅グリーン化各補助対象住宅に関わる事業者にあつては、それぞれ設計者・施工管理者・大工技能者のうちいずれか1人が、住宅省エネルギー技術講習会の修了者であることが必要となります。



※断熱施工模型の説明はございませんが、会場に展示しておりますので自由にお写真をお撮り下さい。

講習会日程(定員各45名)

10月4日(木) 11日(木) 25日(木)
11月1日(木) 8日(木) 15日(木) 22日(木) 29日(木)
12月6日(木) 13日(木) 20日(木)
1月10日(木) 17日(木) 24日(木) 31日(木)

※上記日程のうち半日で参加ください。お申込みはお早目に。

講習会カリキュラム(概要)

12:30から		受付開始
13:00~14:15	75分	開会→講義(基本編)
14:15~14:40	25分	DVD放映(断熱施工)
14:40~14:50	10分	休憩
14:50~16:30	100分	講義(施工編)
16:30~16:35	5分	休憩
16:35~17:25	50分	修了検査・解説・アンケート記入・閉会

講習会費用

受講料	修了証発行手数料(下記のいずれか)	
	不要	+0円
	賞状型	+1,000円
	カード型	+2,000円
1,000円	両タイプ	+3,000円

※講習会当日、受付にて徴収させていただきます。
※お釣りのないようにご協力お願いいたします。
※受講料にはテキスト代を含んでおります。
※カード型・両タイプの方は顔写真データの登録が必要です。

講習会会場

花博記念公園ハウジングガーデン
センターハウス2階

※会場位置図は裏面を参照下さい。

申込み方法

○下記ホームページからお申込みください。

省エネ講習会 **検索** <http://www.shoene.org/>

→開催月を選択し、日本地図上の「大阪」をクリック
※HPから申込みされると自動返信メールが送信されます。

STEP 1 開催月を選択する

開催月を選択してください

☐ 1月 ☐ 2月
☐ 3月 ☐ 4月
☐ 5月 ☐ 6月
☐ 7月 ☐ 8月
☐ 9月 ☐ 10月
☐ 11月 ☐ 12月

STEP 2 開催エリアを選択する

エリアを選択してください

大阪府

北海道ブロック 北海道
北陸ブロック 北陸
近畿ブロック 近畿
中国ブロック 中国
九州沖縄ブロック 九州
四国ブロック 四国
中部ブロック 中部
関東ブロック 関東
東北ブロック 東北
北関東ブロック 北関東
信越ブロック 信越
山梨ブロック 山梨
長野ブロック 長野
新潟ブロック 新潟
富山ブロック 富山
石川ブロック 石川
福井ブロック 福井
滋賀ブロック 滋賀
京都ブロック 京都
奈良ブロック 奈良
和歌山ブロック 和歌山
徳島ブロック 徳島
高知ブロック 高知
香川ブロック 香川
愛媛ブロック 愛媛
広島ブロック 広島
山口ブロック 山口
福岡ブロック 福岡
佐賀ブロック 佐賀
大分ブロック 大分
熊本ブロック 熊本
鹿児島ブロック 鹿児島
沖縄ブロック 沖縄

○FAXの場合は裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記の大阪住宅センター宛に送信してください。申込み確認後、FAXにて返信いたします。

【主催・問い合わせ先】

大阪府地域産材活用フォーラム 事務局 一般財団法人大阪住宅センター 西山あて
〒542-0081 大阪府中央区南船場4-4-3 心斎橋東急ビル4階 電話 06-6253-0252 FAX 06-6253-0145

二〇数年ぶりになるだろうか。鳥取県倉吉市を再訪する機会があった。京都から特急列車に乗り、姫路から鳥取を経て倉吉まで、三時間四〇分まで到着する。主な目的は、現存する最古の円形校舎である旧・倉吉市立明倫小学校（設計／坂本鹿名夫、一九五五年）が、二〇一八年に日本を代表する近代建築（DOCOMOMO 二一六選）に選ばれ、それを記念して選定プレート贈呈式とシンポジウムが催されたからだ。この校舎は長く閉鎖され、一度は解体が決まっていた。それを地元有志が日本最大のフィギュアミュージアムに見事に再生させたのである。

円形校舎の見学は今回が初めてだったが、螺旋階段を中心に扇形の教室が放射状に並び平面計画と周囲にバルコニーが廻るそのたたずまいは、子供たちの学び舎に相応しいスケール感と開放的な空間構成を体现する優れた建築形式であり、この校舎が町のシンボルであった理由を改めて実感した。

さて、倉吉は、江戸時代末期から戦前にかけて建てられた赤瓦と白壁土蔵の街並みが残る人口五万人ほどの町である。幸にも戦災に遭わず、現存する町家や銭湯など多くの木造建築が文化財に指定され、観光客を集めている。そして、この街並みを見下ろす高台に、かつて城が築かれた打吹山を背にして建てられたのが、倉吉市庁舎である。建設経緯については、設計に携わった東京大学教授の岸田日出刀（一九九一〜一九六六年）が次のように記している。

「倉吉の町が、八ヶ村と二部落を合併して市制を布いたのは、去る昭和二十八年の秋だった。（中略）それまでの町役場では、急に規模を増した市政を満足にとうてい容れることはできないから、直ちに新しく市

庁舎をつくることとなり、（中略）郷土出身の建築家だということで、新市庁舎の設計者として、市会でわたくしが選ばれたことは、この上なく光栄なことだと思った。（中略）丹下健三助教授と共同して、案を進めることにした。」（岸田日出刀「倉吉市庁舎について」『建築雑誌』一九五八年七月号）

続いて岸田は、設計のねらいについて、次のように説明している。

記憶の建築

松隈 洋

倉吉市庁舎 1956 年
戦後型庁舎具現化への試み



南西側から見る事務棟外観



事務棟 1 階の階段室と中庭

と形の上の落ちつきを求めた。窓はつとめて大きくしたが、（中略）柱や梁等の構造体をそのまま素直に外に表し、南と北の両面はガラス窓を柱列からすこし引つ込め、東と西の両面は柱のほぼ真に、ガラス窓を配するようにした。このことは、建物全体の形を引きしめるのに役立ったように思う。」

この言葉からも、地元出身の岸田が、与えられた敷地の条件と街並みとの関係性を的確に読み取り、この町に暮らす市民のよ

「敷地のうしろには、松の老樹がウツソウと茂った打吹山が小高く立っている。その山裾に位置するその敷地は、市街地よりはちよつと高く、街のひなびた趣きのある赤い薨を美しく俯瞰することができ。」

平面計画をまとめる上で、この敷地の諸条件をできるだけうまく取り入れ、市民との接触がスムーズになされるようにと、市民ホールのスペースを積極的に大きく配するようにした。（中略）三階と四階との上には、かなりの出の庇をとり、日照の調整

りどころとなる建築を目指していたことがうかがえる。そして、岸田の言葉と呼応するかのように、共同設計者の丹下健三（一九一三〜二〇〇五年）は、設計上のテーマについて、次のような文章を記している。

「この市庁舎が、ここの市民にとって、物的にもまた気持のうえでも、コアの一つの要素となることを望んだ。玄関に入る前のゆつたりとした庇や、玄関を入ったところの展示などができる広々としたス

ペースなど、いわゆるパブリック・スペースをかなりふんだんに、この建築に導入した。見方によつては、無駄なようでもあったが、でき上つてからは、かえつて市の人たちや、市民は、これを喜んでくれているようである。」（丹下健三「倉吉市庁舎」『国際建築』一九五七年六月号）

この言葉どおり、この庁舎には、公会堂としての使用も考慮された議場棟と事務棟を東西に配置しつつ、敷地の高低差を利用して地階と二階に、「市民ホール」と名づけた半戸外のテラスとバルコニーが設けられた。訪れると、それらの要素が、大きな庇と共に建物に強い存在感を与えていることがわかる。そして、事務棟の中央に、中庭と吹抜けの階段室を設けることによつて、大らかな雰囲気も醸し出されている。

ここで試みられたのは、市民が寄り集う場所としての戦後型の庁舎建築の姿だったのだと思う。また、丹下独自の設計によつて、この後に竣工する東京都庁舎（一九五七年）のスチールによるシャープな外観や香川県庁舎（一九五八年）のコンクリート打放しの洗練された造形と比較するとき、この庁舎には、素朴な無骨さが読み取れるのではないだろうか。それは、郷里への思いを抱いた岸田が設計に携わったことの証しなのかもしれない。二〇一六年の鳥取県中部地震では被害を受けたが、修復工事も無事に終り、今も現役で大切に使われている。岸田と丹下の唯一の共同作品であり、倉吉の街並みに根づいた公共建築として、これからもそこに在り続けてほしいと思う。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

建築の分野では木材の利用促進が謳われていますが川上の産地についてどの程度思いが至っているでしょうか。今回は吉野の森と街をつなぐ活動をされている泉谷繁樹さんにその活動や日本の森の現状についてご紹介いただきました。

吉野の森と街をつなぐ 想いを馳せる関係に

泉谷 繁樹

1967年奈良県桜井市生まれ。神戸大学経営学部卒。住友林業㈱海外部で海外から針葉樹を大量に輸入担当。父が創業した泉谷木材商店に戻り、和室の化粧柱中心のプロダクトアウトから様々な加工材も含めたマーケットインの製材所に。小学校から大学まで森林環境学習などの出前授業を全国へ展開。建築の学生への研修やインターンシップなどを含め、これまで延べ5000人以上の街の人を吉野の森に連れて行くなど、森と街をつなげる活動に精力的。協同組合吉野の森と住まいのネットワーク創立、その後奈良をつなぐ家づくりの会に場所を移し奈良の木を使った職人の家づくりをすすめている。現在、株式会社泉谷木材商店代表取締役、奈良をつなぐ家づくりの会副会長。

日本の森は

「自給率アップと林業家の悲鳴」

ご存知のように日本は緑に覆われた森の国です。国土面積の六八％が森林で世界でも二番目の森林大国です。

しかしながら高度経済成長期、大量に輸入される外国産木材の競争力に国産材は敗れ、木材自給率は年々下がりが続き二〇〇五年には一八％までに下がります。

戦後全国に拡大造林という名のもと針葉樹を植え、本来ならようやく収穫を迎えようという時期に国産材需要が低迷し、山でそのままにされる状態が続き、間伐などの手入れが不足した暗い山が全国各地に生まれ大きな社会現象にもなります。

その後、京都議定書での地球温暖化対策で日本の義務である二酸化炭素六％削減のうち三・八％を森林での新たな吸収でまかなうことになり、林業政策は産業用木材の出荷より二酸化炭素吸収のための間伐が大きな柱になりました。荒れた人工林から積極的に間伐を行いどんどん出荷することです。

また公共建築物等における木材利用の促進に関する法律で需要面でも木材を活用することが目指され自給率は盛り返していきます。特にここ数年はバイオマス発電の活況から西日本を中心に多くの人工林から木材が伐り出された結果、自給率は平成二九年度で三六・一％まで回復しています。

ところが、念願だったはずの自給率の回復を果たしながら、山を持つ林業家からは悲鳴が聞こえてきています。間伐材（新しい方針では皆伐材）の伐採・出材に補助金が出ることで、山の作業班は忙しいのですが、増えた出材の分は合板やバイオマス発電など木材の品質にこだわ

らない分野がほとんどで、立木の価値はどんどん下がります。奈良や和歌山の山だと木材製品単価のわずかに四％程度しか立木の価値はありません。これでは、山にはお金が返らず、伐った後植えるというサイクルである再造林は経済的には難しい状況です。また、仮に再造林しても、異常に増えた鹿などの獣に苗を食べつくされてしまうこともあり、無残な伐採跡が全国で広がっています。

日本人と森の関係

日本人は森と密接に寄り添って生活してきました。焚き付けに葉っぱや小枝を集めたり、薪や炭を作ったり。木の実やキノコ・山菜等の食べ物を得たり。森から様々な恵みを得て、暮らしていました。ところが、現在まちの人々は森林散策もせず、キノコや木の実もスーパーで売られているものを買うだけで、どこで出来ているのか考えることもありません。

森の国の民である日本人が森とのつながりが薄れてきている現状は危機的であると感じています。同じように木材や里山といったもののつながりも非常に弱いのではないのでしょうか。そのつながりをどのようにすれば取り戻すことが出来るか、次に考えてみたいと思います。

森とまちをつなぐ

「女子高生と吉野の森」

神戸の百貨店で女子高生が市民に日本の森の現状を説明し、「国産材を使うと環境にとってもいいしお洒落です。」と呼びかける。吉野松の短冊に願い事を書いて、吉野松のクリスマスツリーにつるす（写真1）。海沿いのモザイクのおしゃれなレストランでは吉野松の割り箸が並び女子

高生からのイラスト入りのメッセージが。神戸松蔭高校の環境啓発プロジェクト Green Earth Project の一コマです。森と最も縁遠い存在だった都会の女子高生が、多くの市民に向かって森の恵みや環境について啓発活動を行うように成長するには、吉野林業の山で環境教育合宿を行うところから始まりました（写真2）。

奥吉野に残っていた原生林が製紙会社の乱伐によって出材され、その後山が崩れ何十年にもわたって崩落し続けている現場と村によって保存されたすぐ近くの素晴らしい原生林。そして何百年も前から手を入れ続けてきて残ってきた吉野杉の人工林美林。人間ができることの素晴らしさと恐ろしさを同時に目の当たりにし、実感することで自分たちも動かないといけないと感じてくれました。森の中で林業家の方が「よく自然（森）を守ろうとか書いてあるけど、思い上がりや。我々は自然（森）に守られてるんや」と生徒たちに語られた姿が印象的です。

森とまちをつなぐ

「奈良をつなぐ家づくりの会」

二〇一二年設立した奈良をつなぐ家づくりの会は、木材生産者、原木流通業者、製材事業者、地域工務店、設計事務所等、「森からまちまで」木の家づくりに関わるメンバーで活動をしている会です。ま

ちの人は森のことを学び、森の人はまちの暮らしを思い、顔の見える家づくりをしています。そこで力を入れているのがまちの人を吉野の森に連れて行き、林業家の山への想いを聞いてもらったり製材所のメンバーのモノづくりへのこだわりを見てもらったりする「吉野の森ツアー」です（写



写真 3



写真 4

真3・4)。これまでに二〇回開催しお施様の多くが参加していただいています。

五〇〇年以上の歴史がある吉野林業。日本の人工林林業の発祥の地である吉野川上村で代々山守（地元の森林管理者。山主から森林管理を委託されている）をされているの方々が山を案内します。「自分が植えても収穫できるのは孫の世代からかなあ」とか、「何十年先の山のことを考えて作業を考えている」と言われる実際の山での作業を説明していただいて、植林から間伐・枝打ちなどの育林を経て立派な木々が育っているのであって、山で勝手にすくすく木が育っているわけではないという人工林で最も大事なことで、時間軸が現代人の感覚と全く違うことなどを知ることが出来ます。また、人工林の真ん中にある水源地では水がどんどん湧き出していて、参加者にすくって飲んでもらいます。湧き水をそのまま飲む原体験。美しい森を育むことで水や空気といったまちの人にも欠かせない大事なものが生まれていることも実感していただく内容になっています。

そんな体験をしていただいたあと、家づくりをされる方々はみな木のことを好きになってくれて、小学生のお子様が家づくりの日記を書いてくれたり、山での体験を思い出しながら床板や柱を愛しそうになでくれるそうです。

森が元気になる木材の使い方

最初に指摘したように、国産材が注目を浴び、様々な分野で使われることで木材の自給率はにわかに回復してきていますが、実際の林業家は全く利益が出ず（平均すると大手林業家は林業単体では軒並み赤字経営）、山にお金は帰っていません。

この状態が続けば、林業家が木材の価値を高めるための育林やそもそも再造林への意欲がなくなってしまう。

これまで需要拡大に貢献してきた合板・バイオマス発電といった分野以外に、もって林業家が質の高い木を生産するモチベーションを保つためにも、建築の分野でも内装材や造作材、化粧の構造材、外装材など木材を無垢のまま化粧で使う用途を今まで以上に伸ばす必要があります。これは持続可能な林業のためにも重要です。

吉野材の魅力を伝える

吉野杉・吉野桧は五〇〇年以上の人工林の歴史がある吉野林業が生んだブランド材です。それは雨が多く石灰岩の多い地質などの地の利と、何より先人が作り上げてきた一haあたり八〇〇〇〜一〇〇〇〇本という高密度に行う植林（密植）と少しずつ何回も行う間伐（多間伐）五〇〜六〇年で皆伐する一般的なもののよりずっと長期にわたって育てる（長伐期）という非常に手間暇かかった吉野林業独自の施業体制により生まれたものです。

密植で一本一本に当たる日光を制限することで成長量を抑制し結果年輪の間隔を細かくしています。しかも多間伐で年

輪の間隔をコントロールしていて、結果目の細かい真ん丸の木が出来上がります。また、最初に上にしか日光が当たらないため上へ上へ伸びようとしてまっすぐな伸びのある木になります。

また長伐期で年輪の間隔が細かいという事で心材の赤身の部分の割合が大きくなります。この赤身の部分こそが耐久性のある部分で、吉野材はこの赤身の部分をいかにうまく使うかを考えていたのだといいのかと思います。赤身の構造材は非常に耐久性がありますし、内装材にしても赤身の部分は強度があり脂分も多く、抗菌性もありカビ等の発生を抑えられます。

もちろん適材適所で、病気の方がおられる部屋の内装には辺材の白太の方がいいと言われていますし、節のない木も多く取れます。こういった部分も林業の現場へ行ってみると木材の良さがより伝わえると思います。

主催者は変われど吉野の森ツアーはこれまで年間平均二〇回開催しています。ご希望のツアーもコーディネートいたしますので気軽にご相談ください。

株式会社泉谷木材商店

izutani@moritosumai.com

<http://www.moritosumai.com>



写真 1 吉野桧のクリスマスツリー



写真 2 環境教育合宿の様子



写真 5 心材の赤身が多い吉野杉

謹賀新年 2019

大阪府建築士会役員

見える社会貢献活動へ

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スミタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
TANATOSHI Osaka 大阪市中央区本町橋5-14
(OZビル本町橋902)
TANATOSHI Tokyo 東京都大田区上池台1-7-16-218

濱田 徹

株式会社 イリア
大阪市中央区城見2-2-22
(マルイトOBPビル9F)

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン
宝塚市武庫川町4-3-711

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市北区西天満6-3-11-205
大阪・東京・兵庫・滋賀・九州

人にやさしく

沼田 亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

森田 茂夫

アトリエ クレオ

山城 健児

コーナン建設株式会社
大阪市北区大淀南1-9-10

あけましておめでとうございます。

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

謹賀新年 2019

建築設計事務所

あけましておめでとうございます

人、社会、地球環境との共生

夢ある未来の創造

宇澤 善一郎

ア ト リ エ ・ U
和泉市池田下町1699

金峰 鐘大

株式会社 IAO 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

西村 清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

阿波野 昌幸

公益社団法人日本建築積算協会
関西支部 支部長

亀井 忠夫

株式会社 日 建 設 計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

佐野 吉彦

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中心区島町2-4-7

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中心区高麗橋2-6-10

建設会社

100年をつくる会社

in 鹿島

専務執行役員
支店長 松崎 公一

関西支店：大阪市中心区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311
本 社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

 竹中工務店

取締役社長 宮下 正裕

大阪本店 大阪市中心区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

 大成建設
TAISEI

For a Lively World

常務執行役員関西支店長 加賀田 健司

関西支店：大阪市中心区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本 社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

謹賀新年 2019

建材・設備会社 他

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルドE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 北村 克己

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)

本社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

Hyper-MEGA, Hyper-ストレート, HBM工法
NAKS, RODEX工法



日本コンクリート工業株式会社

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目6番14号(NC芝浦ビル)
基礎事業部 ☎(03)3452-1081 FAX(03)3452-1125
大阪支店 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-11-28
☎(06)4963-6911 FAX(06)4963-6916
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-11-5(エステート名古屋ビル)
☎(052)581-0666 FAX(052)541-2530
四国支店 〒760-0022 香川県高松市西内町4-6(神原ビル)
☎(087)897-2984 FAX(087)897-2986

一般社団法人 **大阪電業協会**

会長 前田 幸一

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 井上 一朗

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<http://www.gbrc.or.jp>

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 立野 純三

本部 〒550-0002 大阪府西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp>

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園
修成建設専門学校

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL 06-6474-1644

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>



FUKUDA GAKUEN

謹賀新年 2019

建材・設備会社 他

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 古新亮英

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

DESIGNER'S NETWORK

株式会社 ディーネット

代表取締役 宗次健太

〒660-0828 尼崎市東大物町2-1-21 TEL.(06)6483-6308

中和で出来るこんなコト!
クリアファイル

オンデマンド印刷により少量印刷も可能に!
バリアブル印刷でナンバリングや
名入れもできます。

ネットショップも営業中!

URL <http://www.chuwa-print.com/>

中和印刷

検索



CHUWA 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

少量から
注文承ります

カメラ+タッチパネル付きディスプレイを
搭載した新型ダムウェーター



総合エレベーターメーカー

クマリフト

小荷物専用昇降機 / ダムウェーター
人荷用・荷物用エレベーター
いす式階段昇降機 / 自由生活

本社：大阪市西区京町堀1-12-20

TEL：0120-07-0570

HP：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事
高分子株式会社



www.konoonsni.co.jp

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

夢のレンガを積みあげよう



都窯業株式会社

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル

☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567

工房 三重県伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓

E-mail:info@miyakoyogyo.com

HP :http://www.miyakoyogyo.com

断熱・吸音・耐火材料

ロックウール工業会

理事長 武井俊之

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-21-13 東洋ビル4F

TEL.(03)5835-2569

FAX.(03)5835-2570

ホームページ:http://www.rwa.gr.jp

理事会報告

文責 本会事務局

日時 十二月十九日(水) 十六時～十七時半
場所 本会会議室

出席 理事三二名 監事二名

名誉会長他八名

(1) 十一月の当期経常増減額は、収入九、三六九、三〇九円、支出一五、四一八、五〇八円、差引△六、〇四九、一九九円で、本年度累計の収支差引一三、四〇九、五二二円を報告して承認されました。

試験事業は決算調整を残して予算通りの執行見込みです。

定期講習は今後の五回開催による収入増が見込まれること、省エネ講習は収入が確定している受託事業であること、登録事業は一二ヶ月が登録集中期間であることから、それぞれ年度末に予算に近似する見込みです。既存住宅状況調査技術者講習はすべてを終了し、当初予測よりも受講者が減少したことにより予算を下回ることが確定しました。

耐震評価業務は予算比約一四〇％で、引続き複数の小規模建築物の申請予定があり、増収が見込まれます。

公益目的事業の現在の収支差引は予算比約七〇％で、全体では約二〇〇万円弱の黒字に推移しています。

(2) 大阪府の景観整備機構の指定に関する手続要領が平成三〇年一月に施行されたことを受けて、本会が府の景観整備機構に指定申請を行い、景観整備・保全等に係わる活動を行うことが承認されました。

(3) 泉佐野市の特定空家撤去工事の包括業務委託について、一・一月度理事会の意見を反映した仕様書により、市と契約を行ったことを報告しました。

建築相談室から三十三

面接相談から

文 橋本頼幸

今回は二〇一七年度の面談相談から不動産業者からの相談、設計監理料のキャンセル、隣地建設に伴う環境変化に関する相談を取り上げます。建売業者から

建売業者からの相談です。週刊誌で欠陥住宅をたくさん作っているとして取り上げられた工務店で施工した物件が売れなくなってしまう。残金を請負の三割程度残していたところ弁護士から請求が来た。完了検査も瑕疵保険検査も終わっている。建築士として見て意見書がほしい。週刊誌の記事だけでは

以下は相談員の回答です。完了検査も瑕疵保険検査も終わっている状態では、大きな問題はないと思います。支払いを止める理由にはなりません。意見書は可能ですが、目視中心です。目的に足る意見書にならないと思われます。ハウスメーカーのキャンセル料

一般の方からの相談です。土地を購入し、ハウスメーカーで自宅建設を検討して、依頼した。まづ設計の申込みとして五〇万円を支払った。営業の対応や提案が自分の希望と合わなかった。で、キャンセルをしたところ、一〇万円しか返金されないという。納得できない。申込み時に支払いを求めるのは一般的なのか知りたい。

提案や図面の提出には

相談員の回答です。着手金は不当ではないが、減額交渉の余地はあると思います。ただし、提案をまとめた図面を作成したりするには一般的に費用が必要です。争うことが前提であれば、民間総合調停センターを紹介し書類や成果品に加えて打ち合わせの記録をまとめておくことをおすすめします。

設計事務所でキャンセル料

一般の方からの相談です。自宅の設計を依頼し、途中で中止となった。その後費用を請求されたが金額に納得できない。契約は告示計算で一五〇〇万円超。契約書と重要事項に押印はない。キャンセル時の請求として告示の計算で五〇〇万円だった。そもそも契約に納得していない上に、出来高もそんなにないはず。

相談員の回答は、契約や請求を納得していないことを前提に交渉してくださいでした。

南側隣接マンシヨン建設による環境悪化

一般の方からの相談です。敷地南側に隣接する土地にマンシヨン建築が予定されています。敷地内に法律ギリギリで建てられる状況のようです。日照や通風、ブライバシー、工事中の振動騒音など環境悪化が予想されます。図面や法的な見落としがないか知りたい。また、事前説明に業者が来る予定なので、その時の対応のアドバイスを頂きたい。

法が守られている以上は

相談員の回答です。高さ規定を始め用途規制等もクリアしているようです。確認申請が通っている以上、日影規制もクリアしていると思われますが、心配であれば正確な日影図の提出を求めてください。建設を中止することは困難だと思われます。

ふわっとした納得できないこと

この手の相談のほとんどは「感覚的に、感情的に納得出来ない」ことをどうしたらいいかと問われており技術的にはどうしようもないことが多いです。面接相談は、電話相談に比べて「難しい」ということを伝えやすい相談形態です。「難しい」とはつまり伝え、相談者自身で相手と交渉をしながら、最後にある程度納得する形になるようにアドバイスをすることになります。

編集後記

曾我部千鶴美

二〇一九年、皆さまお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

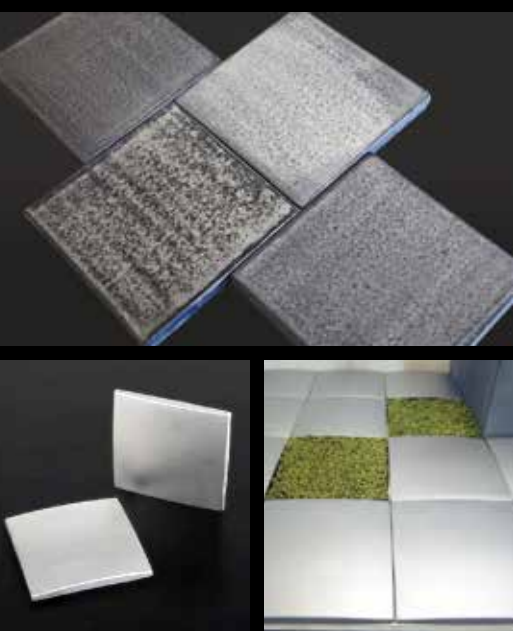
今年は、平成が四月三〇日で幕を閉じ、五月一日から新しい元号が始まる年です。元号が変わるということを初めて体験するのですが、元号を決めるのには、六つのルールがあるそうです。①国民の理想としてふさわしいような良い意味をもつものであること。②漢字二文字であること。③書きやすいこと。④読みやすいこと。⑤これまで元号又はおくり名として用いられたものではないこと。⑥俗用にされているものではないこと。この俗用にといい意味は、昭和、平成もそうですが、それまでは熟語として存在していないことのようにです。また、書きやすく読みやすいということから小学校三年生までに習う漢字が使われるのか？俄然、新元号に興味がいってきたところです。

そんな新しい年に、情報委員に新メンバーが加わりました。全員で協力し「建築人」の編集にあたりたいと思いますので、これからも皆さまよろしく願います。

建築人 1

2019

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門		
編集	建築情報部門『建築人』編集部		
	部門長	飯田英二	
	委員長	牧野隆義	
	編集人代表	荒木公樹	
	編集人	河合哲夫	北 聖志
		曾我部千鶴美	橋本頼幸
		丸子勇人	茂籠一之
		若江直生	
事務局	山本茂樹	母倉政美	
印刷	中和印刷紙器株式会社		



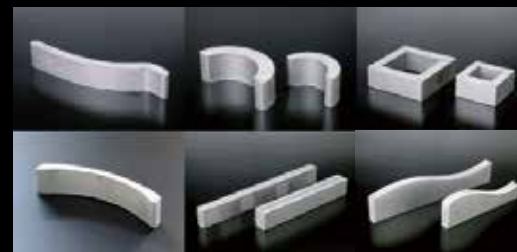
淡路瓦イズム

『景観材シリーズ ノミズ Stream』

野水瓦産業株式会社

<https://www.nomizu.co.jp/index.php>
<http://www.stream-nomizu.jp/index.html>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員



淡路島は、イザナギとイザナミノミコトによる国生み伝説の地であるように、日本において最も古い歴史を持つ土地の一つであるようです。瓦の製造技術が 400 年前に伝えられて以来、淡路島は南あわじ市を中心に日本三大瓦の産地として発展し、伝統を受け継ぎながら新しい技術開発を続け、私たちの暮らしに貢献してきました。

瓦は、一年を通じて激しく変化する日本の気候に対して抵抗したり融和したりしながら、火災や台風からも私たちの暮らしを守ってくれる建築外装材として、特にその中でも過酷な環境に曝される屋根葺き材として進化を続けています。

しかし瓦は、屋根葺き材としてだけでなく、そのタフな性能と魅力のある素材感を活かして、屋根以外の内外装材や小物類などとして古くから使われ、私たちの身体と心を満足させてくれています。

今回紹介する野水瓦産業株式会社も、屋根瓦の製造を主軸として、その品質と生産性を向上させてきたと同時に、瓦の新しい可能性

の探求を続けています。

瓦を床、壁や外構の仕上げ材として使用することは、古くから行われてきましたが、野水瓦産業株式会社では、その分野において、瓦の魅力を最大限に引き出す製品を数多く輩出しています。

敷瓦シリーズ「韻」は、伝統的な敷瓦をモダンな空間で使いやすいように、豊富なサイズバリエーションが揃えられているだけでなく、「いぶし」の仕上げに加え窯変を活かした深みのある変化を楽しめる「焰／ほむら」、表面をペーパー掛けすることで経年変化の中で古びていく美しさを醸し出す「古色」、緩やかなふくらみのある表面形状の「暈／かさね」等、いずれも、瓦らしく光を鈍く反射させながらそれぞれ特徴のある魅力的な表情を見せてくれます。

壁材においても、ボーダー瓦「銀奏」は、壁面に深い陰影を生み出し、日本の美意識に根差した品格を持ちながら、印象的な強い個性を発揮する素材です。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーとコラボレートするプロジェクトは、本誌 11

月号でも紹介しましたが、野水瓦産業株式会社も参画企業三社のひとつです。同社は、得意とする壁材を担当することによって、「デザイナーによるデザイン案を実現に向けて試作していくところだ」と、野水直哉専務取締役から数々の製品の説明とともに聞かされると、まだ見ぬ新しいチャレンジの完成に期待が膨らみました。

新たな挑戦を続け、それが着実な質を生み出していくのは、国生み伝説を持つ古い歴史とそこで受け継がれる気質が牽引するのではないかと感じた取材でした。

同社の景観材シリーズを集めたホームページに、ぜひ一度アクセスして下さい。

■淡路瓦のお問い合わせ先

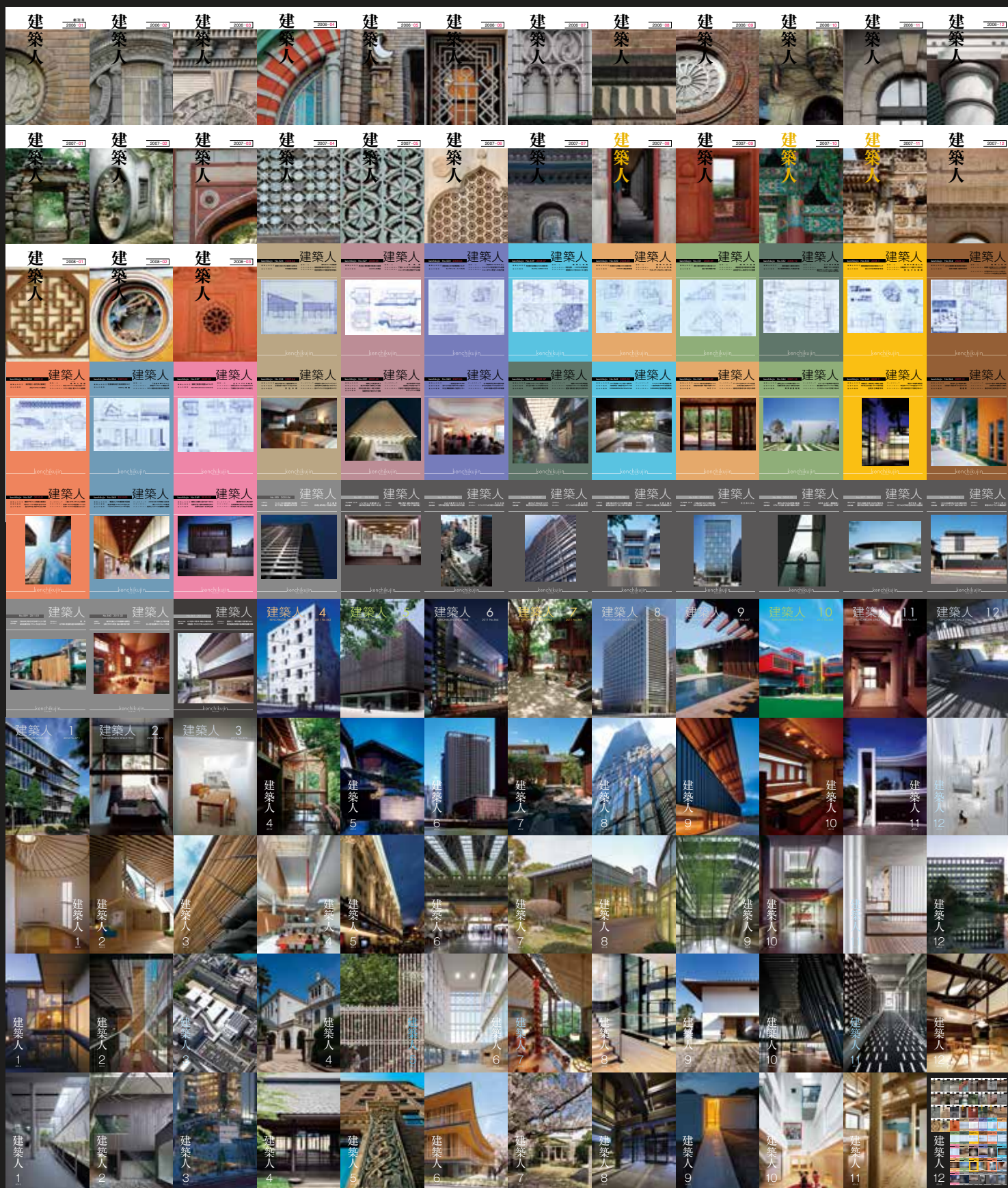
淡路瓦工業組合

兵庫県南あわじ市湊 134

Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030

info@a-kawara.jp

<http://www.a-kawara.jp/>



2006-2015